

一、つぎの文の \_\_\_\_ の言葉はどう読みますか。a. b. c. d の中から一番いいものを一つ選びなさい。(0.5×20=10 点)

問1 デパートには いろいろな種類の商品があります。

① ②

- ①種類 a しゅうるい b しゆる c しゆるい d しゆるえ  
②商品 a ひよひん b しよしな c ひようひん d しょうひん

問2 船便ですか。航空便ですか。

③ ④

- ③船便 a せんびん b ふんせん c ふなべん d ふなびん  
④航空便 a こくうびん b こうくうびん c こうくうべん d こくびん

問3 田中さんは 料理が苦手です。

⑤ ⑥

- ⑤料理 a りょうり b りより c りょうれ d りよつり  
⑥苦手 a くうしゅ b にがて c くうてい d くしゅう

問4 昨日、新宿の劇場で 歌舞伎を見ました。

⑦ ⑧

- ⑦劇場 a げきじょう b げきば c げぎじょう d げきじょ  
⑧歌舞伎 a がぶき b がぶぎ c うたまいぎ d かぶき

問5 中日両国のスタッフの協力があって、成功したんですね。

⑨ ⑩

- ⑨協力 a きよりよく b きょうり c きょうりよく d きょうりく  
⑩成功 a せつこう b せいこう c せいごう d せいこ

問6 空港で 日本からの代表団を出迎えました。

? ?

- ?空港 a くうこう b そらこう c せこう d くうこ  
?出迎 a しゅえい b でむがえ c だしむかえ d でむかえ

問7 ロボットの展示場や自動車の見学です。

? ?

- ?展示場 a でんしば b でんじじよ c てんじじょう d てんじば  
?見学 a みまなび b けんがく c みがく d けんかく

問8 すこし 雪が積っても町中が混乱します。

? ?

- ?積 a せき b つま c つも d せつ  
?混乱 a こんらん b こみだれ c ころん d こんれん

問9 食事の支度を手伝っている間に母の味付けを覚えました。

? ?

- ?支度 a ささえと b しど c したく d しだく  
?味付 a みつ b あじつ c あじづ d みふく

問10 若者と織姫は、天の川を挟んで、離れ離れになってしまったのです。

? ?

- ?織姫 a おりじ b おりひめ c おゆめ d あみしめ  
?挟 a はさ b まさ c しこ d さこ

二、つぎの文の\_\_\_\_言葉は、どの漢字で書きますか。a. b. c. dの中から一番いいものを一つ選びなさい。(0.5×20=10点)

問1 田中さんのむすめさんのなまえはじゅんこうです。

① ②

- ①むすめ a 女 b 娘 c 妹 d 姉  
②なまえ a 名真絵 b 生前 c 名前 d 生絵

問2 はなやできいろいはなをかいました。

③ ④

- ③きいろ a 黄色 b 黄 c 気色 d 生色  
④か a 書 b 買 c 化 d 科

問3 くろいぼうしが「きよじん」のせんしゅうです。

⑤ ⑥

- ⑤ぼうし a 法師 b 法事 c 防止 d 帽子  
⑥せんしゅう a 選手 b 織手 c 先週 d 先手

問4 きよくいんはおもさをはかっています。

⑦ ⑧

- ⑦きよくいん a 職員 b 極印 c 巨員 d 局員  
⑧はか a 破 b 量 c 羽 d 称

問5 秋は、げいじゅつやスポーツのもよおしがさかんです。

⑨ ⑩

- ⑨げいじゅつ a 技術 b 芸術 c 計術 d 芸述  
⑩もよおし a 模様 b 毛様 c 催 d 模様押

問6 今日は つごうがわるいです。

? ?

- ?つごう a 通行 b 通告 c 通告 d 都合  
?わる a 明 b 飽 c 悪 d 割

問7 じかんがみじかいですから、ぜんいきをしゅざいすることができません。

? ?

- ?ぜんいき a 全域 b 前域 c 善意 d 前行  
?しゅざい a 出材 b 取材 c 主材 d 主催

問8 こんなさむいところではくさもそだちません。

? ?

- ?くさ a 草 b 葉 c 花 d 芽  
?そだ a 生 b 養 c 培 d 育

問9 雨のせでくだものとかさいのねだんがねあがりました。

? ?

- ?くだもの a 果実 b 実物 c 水果 d 果物  
?ねだん a 価格 b 値段 c 寝団 d 値談

問10 むかし、あるところに、まずしいうしかいのわかものがおりました。

? ?

- ?まず a 穷 b 貧 c 若 d 首  
?うしか a 牛買 b 薄買 c 牛画 d 牛飼

(1) あかいワインは 冷たく ( ) 飲んでください。

- a しなくて  
c ししないで  
(2) このスカートは ちょつと短いから、もうすこし長( )。  
a いにしましょう  
c くなります  
(3) 旅行に行く前に、地図を買って( )。  
a います  
c おきます  
(4) この薬は いくら飲んでも だめです。今度別の薬を飲んで( )。  
a いきましょう  
c みましょう  
(5) 作文は、来週までに書いて( )ください。  
a おいて  
c あって  
(6) 私はいつも弟に難しい漢字を教えて( )ます。でも弟はなかなか覚ええない。  
a やり  
c もらい  
(7) 知らない人が「百円あげます。」と言ったら、あなたは( )ますか。  
a くれ  
c ください  
(8) 社長に私たちの気持をわかって( )と思います。  
a あげたい  
c いただきたい  
(9) ヤンさんが忙しい時、手伝って( )ました。  
a くれ  
c あげ  
(10) 今度の日曜日は、ゆつくり( )と思っっています。  
a 休もう  
c 休む
- b なく  
d ないで  
b くしましょう  
d いのです  
b あります  
d します  
b しまいます  
d いましよう  
b いて  
d いて  
b くれます  
d あげ  
b あげ  
d もらい  
b さしあげたい  
d くださりたい  
b もらい  
d やり  
b 休むつもり  
d 休みのだ

(1) 北京には 来年の 3 月 ( ) いるつもりです。

- a に                      b まで                      c から                      d で
- (2) まど (    ) あいているから、さむかつたんですね。
- a を                      b に                      c が                      d は
- (3) このまんねんひつは入学のおいおい (    ) もらいました。
- a と                      b に                      c を                      d が
- (4) 日本の文化 (    ) かんしんをもっています。
- a に                      b を                      c が                      d から
- (5) あのデパートは、朝9時 (    ) あいています。

- a まで      b に      c で      d と
- (6) いろいろな人 (    )、王さんのことを聞きました。
- a から      b と      c で      d の
- (7) 朝早く行った (    )、きつぶは買えませんでした。
- a のは      b ので      c のに      d でも
- (8) 女性は いくら働い (    )、給料は男性と同じです。
- a たら      b て      c ては      d ても
- (9) まっすぐ行くと大通り (    ) 出ます。
- a を      b てい      c まで      d に
- (10) 病気になって、両親 (    ) 心配させました。
- a は      b が      c を      d に
- (11) ぼくは 外国語を勉強する (    ) 楽しみです。
- a のを      b のが      c のを      d のに
- (12) 今朝から頭痛 (    ) して、困っています。
- a を      b が      c は      d で
- (13) なかなか日本の生活 (    ) なれません。
- a を      b に      c が      d と
- (14) これは部品を運ぶ (    ) 使います。
- a のは      b のを      c のが      d のに
- (15) これは 木と紙 (    ) つくった人形です。
- a に      b を      c で      d が
- (16) そんなに いそいで食べる (    )、のどにつまります。
- a より      b から      c か      d と
- (17) 手紙は 先生 (    ) 各家庭に配られました。
- a は      b で      c まで      d から
- (18) 奥さんは 子供 (    ) 学校に行かせませんでした。
- a が      b で      c を      d へ
- (19) 人民の生活は 昔 (    ) 比べて、ずいぶん変りました。
- a に      b を      c の      d で
- (20) 私はフランス語が分からない (    )、英語で話しました。
- a とは      b ので      c には      d のに

五、つぎの文の (    ) のところに何を入れますか。a. b. c. d の中から一番いいものを一つ選びなさい。(1×10=10 点)

- (1) 昨日、かのじよがにゆういんした (    ) を聞きました。
- a もの      b ため
- c はず      d こと
- (2) あの店は高いから、買わない (    ) いいです。
- a ほうが      b ことが
- c 場合が      d はずが
- (3) 今年の夏は去年 (    ) 暑くないです。
- a より      b ほど
- c くらい      d と
- (4) かれはうつくしい (    )、頭がよくないです。

- 六、つぎの中国語を日本語に訳しなさい。(2×5=10点)

- 七、つぎの日本語を 中国語に 訳しなさい。(2×10=20 点)

- 您所下载的资料来源于 kaoyan.com 考研资料下载中心  
获取更多考研资料，请访问 <http://download.kaoyan.com>



いしました。

(9) 日本はアジア大陸から離れた島国だから、外国の進んだ文化を取り入れやすかったとは言えよう。

(10) この辺りは空気がきれいで、とても静かだが、交通が不便なため、土地の値段はあまり高くないそうです。

### 八、つぎの文章を読んで、後の質問に答えなさい。(2×5=10 点)

泳げないくせに、海がすきである。

幼い頃持っていた絵本に、夏の終りの夜の海辺の情景があった。ひと夏を海辺

の別荘ですごし少年と少女と母親が、しゃがんで線香花火をしているのである。海は暗くて、夜空を火球が走っている。見えるわけもないのに、ひとでやまぐりが大きくはつきりかきこまれている。花火の火で、3人の顔がほの明るく照らされていた。大体そんなふうだったと思う。その脇に文字があつて、それははつきり覚えている。「のこり花火は、①さびしいな。あしたは、汽車で帰るのよ」というのであつた。海辺に別荘をもってひと夏をそこで過ごす。そんなすばらしいことがあるだろうかと子供の心に思った。(②)、わたしの父親は安サラリーの新聞記者だったから、8畳と6畳の賃貸のアパートで暮らしていたので、③それとなく、そんな夢はかなうわけもなかった。それから数年間、海の全くないところで暮した。そののち、夜更けてくると風の具合で海が鳴っているのが聞こえる土地に住みついた。夏の夕方など、自転車に乗って行つた。海に近づくにつれて路に砂が多くなる。(④)、もうこれ以上乗ったままにでは進めない、というところまで来ると路は終わっていて、松林の続く砂地になる。

自転車を引きずるようにしてさらに進むと蒼黒く変色しはじめている海が、いきなり視界にひらけた。今、日は落ちたばかりで、まだ地平線近くには残像があるが、むくむくと這い上がって来た積乱雲は蒼白で、東の空をいっぱいに占めている。浪は狼の歯のように白い。

流れついた板の上に腰を下ろして、刻一刻と暗くなつていく夏の海を、⑤いつまでも見ている。

泡が吹き、浪は去つていく。何かが起る。そんな予感を感じさせるのだつた。あの頃からもまたずいぶん時がたつた。もう幾年も、そんな夏の夜の海を見ない。

問1 ①なぜ「さびしい」のか。

- a 花火がもう終わってしまったので、なんとなく寂しく感じたから
- b ひと夏を海辺の別荘で楽しく過ごしたが、明日は帰らなければならないから。
- c 明日、汽車で帰るのがどうしても嫌だったから
- d ひと夏を海辺の別荘で楽しく過ごす少年と少女がうらやましかつたから

問2 ②と④に入る組み合わせとして最も適当なものはどれか。

- a ②けれど.....④だから
- b ②さらに.....④それから
- c ②ところで.....④それで
- d ②しかし.....④そして

問3 ③「それ」は何を指すか。

- a 夏休みを家でのもくろみと過ごすこと
- b この母親や少年少女と一緒に海辺の別荘に行くこと
- c 8畳と6畳の賃貸アパートで暮らすこと

d 海辺に別荘を持って、ひと夏をそこで過ごすこと

問4 ⑤なぜ「いつまでも見ている」のか。

a 何かが起るような予感が感じられたから

b 家に帰りたくなかったから

c 海が刻一刻と暗くなっていくから

d いつか必ず海辺に別荘を持ちたいと思っていたから

問5 この文章の内容として最も適切なものはどれか。

a 幼いころ読んだ絵本の中の海辺の情景にあこがれていたが、やがて海の近くに住むことができるようになり、とても満足している

b 海が好きなのは、幼いころ、海の近くに住みたいとずっと思っていたからであり、大人になってからも、大好きな夏の海をいつもでもみていることがある

c 絵本の中の海辺の情景にあこがれていた幼いころのこと、そして、海の近くにすんでいたころよく見た夏の海の様子が、今でも深く心に残っている

d 昔見た夏の海の様子はつきりと覚えているが、大人になった今では、もうそんなに海を見たくはない

### 九、つぎの文章を読んで、後の質問に答えなさい。(2×5= 10 点)

木々の若葉が広がり、街道樹の枝もやわらかい緑に煙って見える。この季節になると、父と一緒に木を植えた日々が思い出された。

父は長男には自分の事業の跡を継がせ、二男の私には法律を勉強させて、ゆくゆくは弁護士として兄の片腕にしたかったらしい。

わたしが小学校の終わりごろ、父は家から1時間ほど歩いてところかなり大きな土地を手に入れた。北ドイツのわたしの故郷のあたりずっと平坦な地形だ。その土地も広々した牧草地だった。

しばらくして父は、そこに木を植えるから、わたしに手伝うように言った。ちょうどわたしは中学に入ったばかりで、読みたい本もたくさんあり、兄に頼めばいいのにと思いつながら、父があまり熱心なので、やむなく従った。それからわたしの放課後、何カ月もかかってポプラ、もみ、かしわなど、さまざまな種類の苗木を植えた。500本近くも植樹したのだろうか。なかなかの重労働だったが、その作業の合間に、父はわたしにいろいろな話をした。

まずこの土地は君が住むために買ったのだから、二人で協力して木を植えようと語り、君の子供が孫の世代には、今植えた木が育って豊かな森になっているはずだと①目を細めた。当時から父は、人間は自然を大切に守って、それを次の世代に伝えて行く義務があると主張していた。

父に感謝しながらも、わたしはもう日本へ行く意志を固めていたので、父の希望に添えないことが②。高校卒業を前にして③ようやく自分の決意を打ち明けたが、父が反対しなかった。

やがて日本へ出発するために故郷へ戻ったわたしを、父は散歩に誘い、いっしょに④思い出の土地へ出かけた。父はさりげなくこの土地は手放すことにしたと言い、わたしの背丈ほどに育った木々を名残惜しそうに見やった。その横顔には急に老いが感じられた。これが父との最後の散歩になった。

去年故郷を訪ねたわたしは、何十年ぶりかでその土地のあたりを歩いてみた。こんもりとした大きな森が前方に現れた時、わたしの脳裏には父の笑顔がまざまざと浮かんでいた。

問1 ①「目を細めた」のは、なぜか。

- a 木を植えて疲れたから
- b 太陽が目にもぶしかつたから
- c 将来を楽しみに考えていたから
- d 年をとって、目が悪くなっていたから

問2 ②)の中に何が入るか。

- a 悲しかった
- b 当然だ
- c 厳しかった
- d 窮屈だった

問3 ③「ようやく自分の決意を打ち明けた」とは、なぜか。

- a 自分の将来について、なかなか決心できなかったから
- b 父には関係がないので、言わなくてもいいと思っていたから
- c 父は自分の気持ちを分っていると思っていたから
- d 父の希望に添えないので、言いにくかったから

問4 ④「思い出の土地」はどこか。

- a 自分が住んでいた故郷
- b 父と木植えた土地
- c 家族の家があった土地
- d 日本で住んでいた土地

問5 筆者は現在どうしていると思いますか。

- a 父の事業を受け継いでいる
- b 兄の仕事を手伝っている
- c 弁護士の仕事をしている
- d 外国で仕事をしている